

## 令和6年度厚生労働省行政事業レビュー外部有識者会合 議事概要

### 1. 日時

令和6年4月17日（水）10：00～11：10

### 2. 場所

厚生労働省専用第15会議室

### 3. 出席者

外部有識者：井野委員（※）、大屋委員、加藤委員、島田委員（※）、関委員、高久委員、寺田委員、中益委員（※）、橋爪委員（※）、松村委員（※）

（※）オンライン参加

厚生労働省：大臣官房会計管理官  
政策立案・評価推進官

### 4. 議事内容

（議題）令和6年度公開プロセス対象事業の選定

厚生労働省から公開プロセス対象候補の17事業について、事業概要、選定理由及び想定される論点を説明。外部有識者の投票を踏まえて、意見交換が行われた結果、以下の6事業が今年度の公開プロセス対象事業として選定され、了承された。

### <令和6年度の公開プロセス対象事業>

- ドクターヘリの導入促進（統合補助金分）【医政局】
- 麻薬・覚醒剤等対策事業【医薬局】
- 就職氷河期支援対策専門窓口の設置及びチーム支援の実施【職業安定局】
- 両立支援等助成金（不妊治療両立支援コース）【雇用環境・均等局】
- 生活困窮者自立相談支援事業等（生活困窮者自立相談支援事業費等負担金関係）【社会・援護局（社会）】
- 後期高齢者医療制度事業費補助金（健康診査事業）【保険局】

## 5. 外部有識者の主なコメント

### <総論>

- 春レビューとして公開で扱うということなので、予算規模は一つの大きな観点。その他にも、執行率の低いもの、政策的に話題性のあるもの、裁量性が高く EBPM 評価になじみやすいものを優先的に選定すべきであり、議論するタイミングも重要。
- （6事業の選定の考え方として、同一部局を2事業選ぶことを避けることについて）選定された事業に対する意見は、類似事業にも適切につないでいく必要。公開プロセスは限られた日程の中で行うので、政策分野のバランスにも配慮しつつ、選ばれた事業だけではなく他の事業への波及効果を考えていくことが重要。
- 来年度以降の公開プロセスの事業を選定するにあたって、今年度の議論も参考にしていきたい。

### <各論>

#### ①ドクターヘリの導入促進（統合補助金分）

- 事業自体は重要と考えるが、災害時等の有事ではなく平時の運行体制をどう評価していけばいいかという点で興味深い。

#### ⑤麻薬・覚醒剤等対策事業

- 犯罪の再犯防止に繋がる事業であるが、EBPMとして評価するのは非常にハードルの高いテーマと考える。

#### ⑦就職氷河期支援対策専門窓口の設置及びチーム支援の実施

- 現在人手不足がクローズアップされている状況であり、そうした関係でどういった事業展開をしていくか確認する必要。

#### ⑩両立支援等助成金（不妊治療両立支援コース）

- 不妊治療の関係は世間の注目は高い。企業、社会がいかにサポートしていくかという課題は、高齢化・少子化・労働環境と色々な分野に繋がっていくもの。